

入野小学校 校長室だより

2015. 1. 30(金) No. 36 文責：芝

英語で“どこに行きたい?”

先週は「インフルエンザで大ピンチ」とお知らせしましたが、幸いピークを過ぎました。でも、心配は続いています。幡多郡内では、まだまだ流行していますから、買い物や習い事、スポーツ少年団関係などでの感染の危険性は依然として「大」。引き続き、「うがい・手洗い・休養・栄養」に努めたいものです。

先日、入野小学校を会場にして町の「外国語活動研究会」が行われました。町内の先生が何人も見ている中で6年生は英語の授業を受けたのですが、楽しそうに学習を続けていました。なかなかの度胸です。

この頃の英語教育は使えることが大切にされています。言葉は意思疎通の道具ですから、考えてみれば使うことが大事なのは当然のこと。私たち世代のように、英語を何年習っても話せない人が多いのでは困ります。



この日のテーマは「どこに行きたい?」それに対して「行きたい場所、見たいこと、食べたいもの」を答えるという授業。最初にカードを使って言い方を練習し、次は席を立てて出会った人に自分の行きたいところを伝えます。

指導者はALTも含めて4人。伝え合う場面では子どもたちは参観者も引っ張り込んでの活動になりました。



少し前、若い先生（英語は専門外）が、ALTが外国から来たお客さんに説明しているのを聞いて「だいたい分かる」と言ったのに驚いたことがあります。私など全く聞き取れません。若い人は早い段階からALTの英語に接しています。そのことも「耳の良さ」につながっているのかなあと、私が英語が苦手だったことを棚に上げて思ったことでした。

おもちゃまつりは2年生

下の写真は2年生の「おもちゃまつり」。1年生を招待して行いました。素晴らしいのは「1年生のことを考えて…」2年生が準備を進めたところ。他の人が楽しんでくれたら自分もうれしいという気持ちはお兄さん・お姉さんになっている証拠です。

